

6月は「土砂災害防止月間」です ～月間内に予定している催しをお知らせします～

毎年6月は、「土砂災害防止月間」として定められています。
湯沢河川国道事務所では、平成2年より八幡平山系(秋田県側)
約510km²のエリアについて、国直轄砂防事業として土砂災害対策を
行っています。

6月の月間内に、当事務所が予定している各種催しについてお知らせ
致します。なお、下記の③及び④の詳細については開催日前に再度お
知らせします。

《土砂災害防止月間の目的》

土砂災害防止に対する国民の理解と関心を深めると共に、土砂
災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制整備の促進等の運動
を強力に推進し、土砂災害による人命、財産の被害の防止などを
目的としています。

□期間中の啓発活動

- ・砂防に関するパネル展示
- ・バスの土砂災害防止月間ステッカー掲示
- ・秋田駒ヶ岳火山防災ステーションにおいて秋田駒ヶ岳に関するビデオ上映(常設)
- ・秋田駒ヶ岳火山防災ステーションにおいて砂防関係リーフレットの配布(常設)

※秋田駒ヶ岳火山防災ステーションはアルパこまくさ内にあります。

①岩手大学農学部の学生による砂防実習

日時：6月3日(火) 9時30分～15時までの予定

場所：生保内川遊砂地、サボー・カルチャーパーク、供養佛
災害(工事)箇所など

参加人数：約15人

②防災ヘリによる崩壊地調査及び秋田駒ヶ岳調査

日時：6月4日(水)

1回目調査：9時20分～10時20分(予定)

2回目調査：13時45分～14時45分(予定)

場所：直轄砂防エリア及び秋田駒ヶ岳周辺

(別紙の飛行ルート、写真を参照願います)

参加人数：約18人

※防災ヘリは、国交省災害対策用ヘリコプター「みちのく号」
を利用します。気象状況によっては、調査を延期すること
があります。

③日本郵便(株)と国土交通省の勉強会

日時：6月18日(水) 16時～17時までの予定

場所：角館郵便局会議室

参加人数：約20人

※土砂災害の前兆現象について勉強会を開催し、今後の梅雨期に備えるものです。

④“さぼう”を探検 生保内／神代小学校5年生による総合学習

日時：6月23日(月) 9時～12時までの予定

場所：生保内川遊砂地、サボー・カルチャーパーク、秋田駒ヶ岳火山防災ステーション

参加人数：約80人

当事務所HP URL (<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>)

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2

電話0183-73-5544

技術副所長

さとう
佐藤

のりお
徳男 (内線204)

調査第一課長

はやし
林

まさひろ
将宏 (内線351)

土砂災害防止月間における取り組み

湯沢河川国道事務所

啓発活動予定

期間中、湯沢河川国道事務所では次の啓発活動を予定しております

啓発活動	期間	啓発活動場所
ポスター掲示、看板設置	6/1～30	秋田駒ヶ岳火山防災ステーション内※ 湯沢河川国道事務所(湯沢市)
砂防に関するパネル展	6/2～30	秋田駒ヶ岳火山防災ステーション内※ JR田沢湖駅 1F
	6/9～18	仙北市役所 田沢湖庁舎 正面玄関付近
	6/18～27	仙北市役所 西木庁舎 正面玄関付近
バス車内広告	6/1～30	仙北市内(旧田沢湖町内)を運行するバス車内
秋田駒ヶ岳に関するビデオ上映、リーフレットの配布	常設	秋田駒ヶ岳火山防災ステーション内※
生保内／神代小学校による 総合学習(さぼう探検隊)	6/23	生保内遊砂地、サボー・カルチャーパーク、 秋田駒ヶ岳火山防災ステーション

※: 秋田駒ヶ岳火山防災ステーションはアルパこまくさ内にあります

昨年の開催状況



火山防災ステーション内、啓発活動



バス車内広告



広報ビデオの常設上映



JR田沢湖駅内、パネル展示



仙北市田沢湖庁舎内、パネル展示



総合学習(さぼう探検隊)



総合学習(さぼう探検隊)

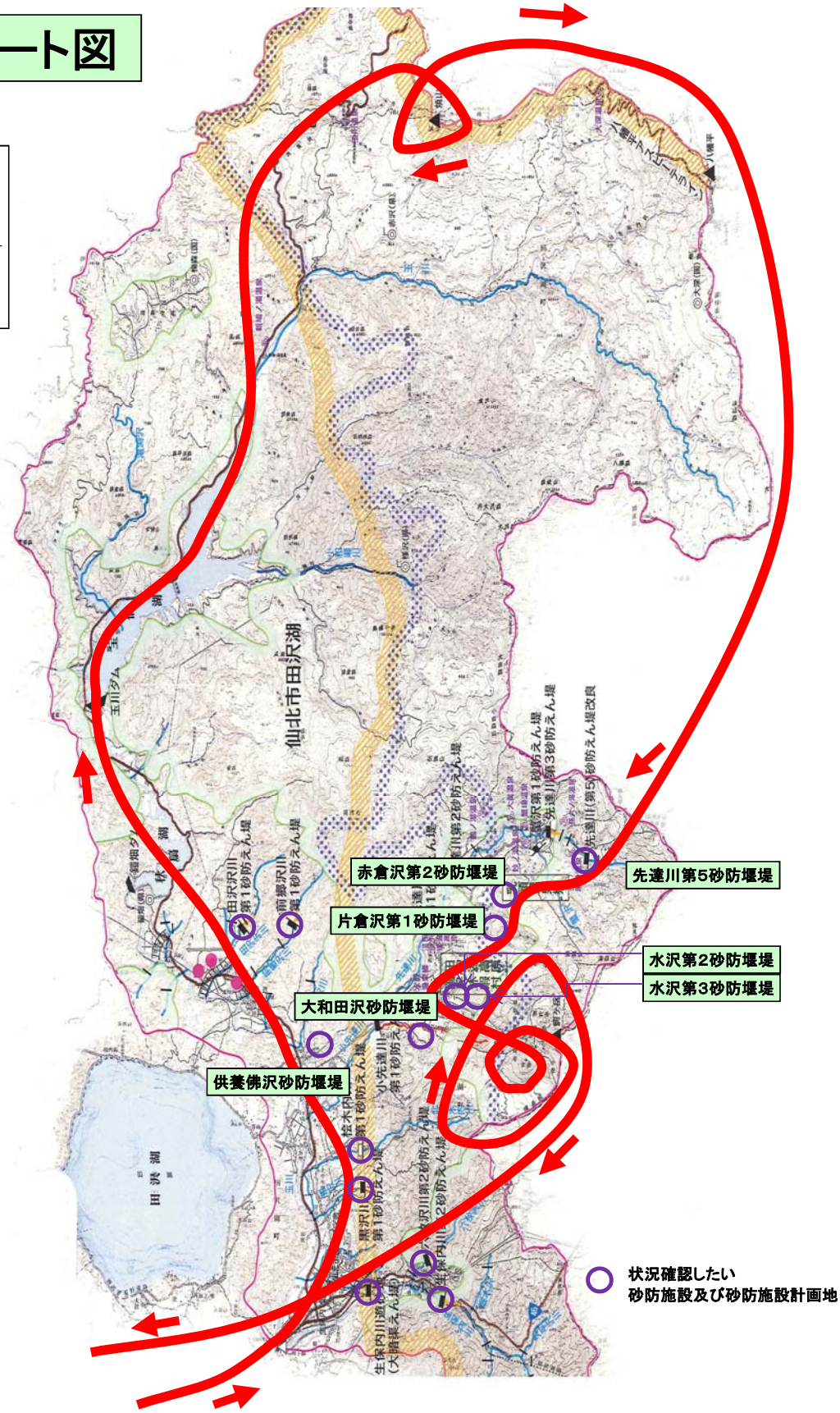
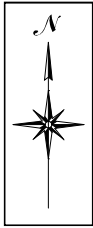
秋田駒ヶ岳

火山防災ステーション内常設状況



砂防関係リーフレット(例: 噴火痕跡マップ)

飛行ルート図



上空から見た秋田駒ヶ岳周辺



平成9年5月 先達川上流土砂崩落箇所【2011.10撮影】



秋田駒ヶ岳南部カルデラ(画面中心は溶岩流)【2011.10撮影】